

■地域討論集会

2016年02月19日ウヰ二戸にて、26名の出席により「春季生活闘争県北地域討論集会」が開催された。

高田議長は「問題は集団で考える、職場の課題は働く者の課題である。笑顔で仕事ができる職場づくりを目標にして行きたい」と挨拶を行った。



豊巻会長は「新卒3年後の離職率は40%と高い。大手は研修等により労働条件が整備されているが中小は労働条件が整備されていない。大手のみの賃上げで中小は置き去りにされている。サプライ・チェーンを自動車の生産工場に例え大手主導ではなく中小の底上げを図らなければならない。」と語った。



※ サプライ・チェーン（供給連鎖）とは、物流システムをある1つの企業の内部に限定する

ことなく、複数の企業間（旧来の親会社・子会社のような企業グループ内での関係に留まらず、全く対等な企業間で構築される物流システム）で統合的なシステムを構築し、経営の成果を高める。価値提供活動の初めから終わりまで、つまり原材料の供給者から最終需要者に至る全過程の個々のプロセスを、一つのビジネスプロセスとしてとらえ直し、企業や組織の壁を越えてプロセスの全体最適化を継続的に行い、製品サービスの顧客付加価値を高め、企業に高収益をもたらす戦略的な経営手法である。

次に、蛇口事務局長により「連合岩手 2016 春季生活闘争方針」「雇用の状況」が説明された。すべての組合は月例賃金にこだわり、賃金の引き上げをめざす。要求の組み立ては、定期昇給相当分（賃金カーブ維持相当分）を確保したうえで「底上げ・底支え」「格差是正」に拘る内容とする。単組が取り組む地域ごとの水準については、「県別リビングウェイジ」を上回る水準をめざす。非正規労働者の労働条件は、正社員との均等処遇をめざす観点から、昇給ルールの導入・明確化の取り組みを強化する。等々、の説明がなされた。

その後、参加9単組からの報告は、約1時間にも及んだ。



- 東北電労は、・・・
- 二戸市職労は、・・・
- 県職労は、・・・
- 労金労組は、・・・
- JP 労組は、・・・
- 岩教組は、・・・
- 高教組は、・・・
- 銀座ファッション労組は、・・・
- 十文字井カワ二-労組は、・・・



※ 内容は参加者による確認により、紙面では割愛させていただきます。

